

茶源郷まつり

茶畑からお茶の魅力発信する和東町の「茶源郷まつり」が11月2、3の両日、和東運動公園で開かれる。名称を変え、開催日数を1日から2日にして2回目。実行委員会は前回（来場者約6300人）を上回る盛り上がりを目指して準備を進めている。

産業祭として始まり、名称を変えながら30年以上継続。前回から宇治茶の産地・和東の魅力を多くの人々に知ってもらおうと、企画のアイデアのほか、運営団体、ボランティアスタッフを募集して開催している。

会場では、日本茶インストラクターによる

「茶畑」から魅力発信



打ち合わせをする実行委のメンバーやボランティア
＝和東町で

茶会のほか、トルコや中国など世界のお茶が楽しめるコーナーも。クッキーやまんじゅう、うどん、カレーなどお茶を素材に使ったスイーツや料理を提供する「お茶つくし屋台村」や、茶そばの手打ち体験や茶道体験もある。

【南長靖雄】

茶会のほか、トルコや中国など世界のお茶が楽しめるコーナーも。クッキーやまんじゅう、うどん、カレーなどお茶を素材に使ったスイーツや料理を提供する「お茶つくし屋台村」や、茶そばの手打ち体験や茶道体験もある。

「日本で最も美しい村連合」の加盟に、大きな役割を果たした素晴らしい景観の茶畑ツアー（4コース）も開催する。雨天決行。問い合わせは役場の実行委事務局（0774・78・3001）。

和東で来月2、3日——屋台村や体験も